

# 学校の安心・安全活動推進中

☆小学校での事故やけがを重点的に予防

平成23年8月に実施した市民のけが及び安心安全に関する実態調査アンケートによると、小学生がいる世帯のうち、医療機関にかかるような事故やけがを経験した世帯割合は44%と高く、その発生場所は一日の生活時間の大半を過ごす小学校が49%を占めていました。

さらに、平成23年度中に松原市立の小学校(全15校)で、医療機関にかかった事故やけがの発生件数を調べると653件(学校保険請求データ)あることがわかり、医療機関にかからなかった事故やけがも含めるとさらに多くの事故やけががあります。

子どもの安全対策委員会では、小学校段階から事故やけがの予防の啓発や取り組みを強めることが大切であると考え、重点課題として位置付け、取り組みを進めています。



☆小学校での安心・安全に関する取り組みについて

松原市内の小学校では、多くの安心・安全に関する活動に取り組んでいます。

今回は子どもの安全対策委員会に参加している松原東小学校の堀辻校長先生に、学校で行っている安心・安全に関する活動について、お話を伺ってきました(左記参照)。

## ●松原東小学校校長の話●

本校では、校長による指導の下、各学級担任や生活指導担当、保健の先生、学校事務職員、技能職員をはじめとする全教職員と、教育委員会が連携して安心・安全に関するいろいろな活動に取り組んでいます。

昨年から学校の見取り図を校内に掲示し、児童自らがけがをした場所にシールを張る『校内安全マップづくり』に取り組んでいます。今後はマップづくりから得られた情報を全校児童で共有し、児童の安全に対する認識を高め、危険察知能力を向上させる仕組みをつくりたいと考えています。

また、去年は、日曜参観を利用して、地域で安心・安全に関する活動をしておられる方々や保護者の方々と一緒に防災訓練を実施しました。この取り組みにより、地域との安心・安全に関する協働について、重要性を実感しました。

今後も、いろいろな活動を通して、全校児童が安全意識を高めていくことが求められます。さらに、けがのデータや保護者・児童の意見を収集し、今後予定されている校舎や設備の大規模改修では、これらのデータを安心・安全な学校づくりに役立てていければと考えています。

堀辻校長先生から教えていただいた松原東小学校での活動をご紹介します。

●『運動場・校庭の一部芝生化』  
松原東小学校では運動場でのけがを予防することも目的の1つとして、運動場や校庭の一部を芝生化しています。

●『バリアフリー化』  
スロープを設置し段差をなくするなど、転倒事故を防ぐ改修を行っています。

●『子ども見守り活動』  
通学路の中で交通量が多い交差点付近では、地域の皆さんに子ども見守り隊として立っていただき、登下校時の児童の安全を見守っていただいています。このことにより、児童

と地域の連携も強くなります。

●『保護者・児童へのアンケート調査』  
定期的に保護者・児童にアンケートを実施し、勉強や児童会活動、クラブ活動やいじめ、施設や設備についての意見を収集しています。

●『防災マニュアルの作成』  
災害発生時に備えて、先生方の行動を詳細にまとめています。また、災害発生時に児童を保護者へと確実に引き渡すなど、管理を行うための『引き渡しカード』の活用も取り入れています。

問合せ 市民安全課



▲子ども見守り活動



▲運動場の一部芝生化

- ニュース松原
- 情報ひろば
- 子育て消費生活
- 税
- 上下水道相
- 安全
- 保険年金
- 健康
- 環境福祉
- 人権
- その他
- 子育て応援コーナー
- 各種相談
- 素敵に生きよう
- 歴史ウォーク
- 催しぼくす
- 講座イベント
- スポーツ
- 図書館
- 地域交流
- みんなの広場
- イベントガイド